

Ⅱ - 90

高齢社会における水辺空間整備に関する基礎的研究

秋田大学 正会員 清水浩志郎

秋田大学 正会員 木村 一裕

秋田大学 学生員 ○ 藤田 勝

1. はじめに

余暇活動は高齢者にとって生きがいをつくり出す重要な活動であり、高齢社会においては十分な余暇活動ができるような空間や施設整備が望まれている。また、余暇活動の場として水辺空間は、オープンスペース、水、緑（自然）など多くの要素からなり、生活空間に近い近隣空間も多く、日常生活における余暇空間として魅力を持っている。

本研究では、水辺空間を余暇活動の場としてとらえ、水辺空間の持つ余暇機能を明確化し、これに対応した施設を類型化することにより、水辺空間における魅力ある施設のあり方を考察するものである。

2. 研究の流れ

本研究のフローチャートを図-1に示している。

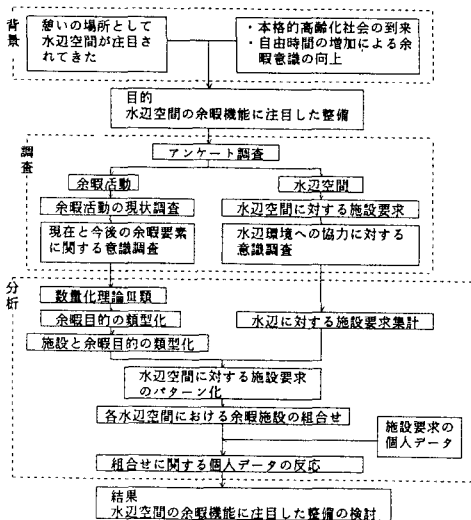


図-1 研究のフローチャート

本研究では初めに、余暇活動の現状と今後の意向から高齢者の余暇目的の類型化を行う。これと合わせて、余暇関係施設の持つ様々な余暇要素の明確化を行う。さらに、様々な水辺に希望する施設を挙げてもらい、個々の水辺へのニーズの把握とともに、水辺のもつ余暇機能の明確化を行う。以上の目的のために、アンケート調査を実施した。取り上げた水辺は、その取りまく環境や形態の違いにより「大河

川」、「都市河川」、「港湾」、「海浜」、「湖沼」、「堀」の6つに分類し、具体的な水辺の写真を見ながら施設を選んでもらった。調査票の配布数、回収数及び年齢、性別構成は表-1に示す。

表-1 年齢及び性別構成

		有効票数	構成比			有効票数	構成比
年	青年層（20～39歳）	100票	31.9%	性	男性	177名	56.6%
齢	中年層（40～59歳）	49票	13.8%	別	女性	132名	42.2%
層	高齢層（60歳以上）	170票	54.3%		無回答	4名	1.3%
合	計（配布500票）	319票	（回収率 63%）				

表-2 余暇要素

- 1, 健康や体力の向上をめざす
- 2, 人との交流をはかると
- 3, 日常生活を離れる解放感
- 4, 自然に触れることができる
- 5, 創造力や芸術的関心を満たす
- 6, 日常生活や仕事に役立つ
- 7, ゲームなどで競う
- 8, 社会や人のためになること
- 9, 賭けや偶然を楽しむこと

3. 高齢者の余暇意識の類型化

高齢者の現在の余暇に対する意識を表-2に示す9つの余暇要素について質問し数量化理論Ⅲ類を用いて余暇意識の類型化を行なった。その結果、固有値0.253と0.155に対応する2軸が得られ、カテゴリープロットによりそれぞれi軸を「精神的興奮-精神的安らぎ」、ii軸を「個人-集団」と解釈した。また個人のサンプルプロットはi群「安らぎグループ」、ii群「個人趣味グループ」、iii群「社交グループ」の3つの群に分かれた。サンプルプロットは、i群の「安らぎグループ」への集中が見られ、高齢者は、余暇活動に対して安らぎを求めている人が多いと言えるだろう。

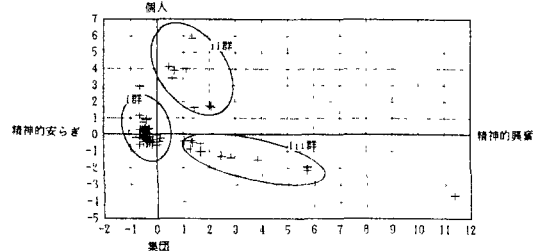


図-2 余暇意識の類型

4. 施設の類型化による分析結果

(1) 施設の類型化

高齢者から見た余暇関連施設の持つ余暇要素を類型化するために、水辺空間への設置を想定した余暇

表-3 グループによる施設分類

群 名	施 設 名
Ⅰ群 憩いグループ	コテージ、水トレストラン、ホテル、庭園、ベンチ・テーブル、あずま屋、動物園、水族館、カラオケ施設
Ⅱ群 行事グループ	競艇場、カーレース場、狩猟・西番場
Ⅲ群 スポーツグループ	トレーニング施設、体育館、野球場、球技場、グラウンド壘うち テニスコート
Ⅳ群 アウトドアグループ	自転車道、ジョギングコース、プール、水泳場、スカイレイン 設備、ファットバーニー、釣り場、キャンプ場、散歩道、遊園地、
Ⅴ群 自然作業グループ	田畑
Ⅵ群 文化活動グループ	動物園・水族館、オーケストラ、移動図書館、屋外ギャラリー ・ユネスコ広場、野鳥の博物館、野鳥観察会、イペスト広場

各水辺に対して要求された施設を、グループ別に示したのが図-4である。いずれの水辺もⅣ群の「アウトドアグループ」とⅠ群の「憩いグループ」、そしてⅥ群の「文化活動グループ」の構成割合が高くなっている。また、大河川ではⅢ群の「スポーツグループ」。港湾と堀では、Ⅵ群「文化活動グループ」の構成割合が他の水辺より高くなっているのが特徴的である。

Figure 1 is a horizontal stacked bar chart showing the percentage distribution of six types of vegetation (I, II, III, IV, V, VI) across six locations: 大司川 (Dasi River), 都市司川 (Urban Siji River), 生溝 (Shengou), 海丘 (Haichu), 城召 (Chengzhao), and 城 (Cheng). The x-axis represents percentage from 0 to 100. The legend indicates: I (solid black), II (horizontal lines), III (vertical lines), IV (diagonal lines), V (cross-hatch), and VI (white).

Location	I (%)	II (%)	III (%)	IV (%)	V (%)	VI (%)
大司川	10	10	10	10	10	50
都市司川	10	10	10	10	10	50
生溝	10	10	10	10	10	50
海丘	10	10	10	10	10	50
城召	10	10	10	10	10	50
城	10	10	10	10	10	50

水辺に求められる余暇施設を施設グループで集計した結果、水辺及び年齢層ごとの変化が見られなかったが、施設グループ内ではいくつかの違いが見られた。そのうち特徴的なものを表-4に示した。Ⅲ群の大河川では「球技場」や「グラウンド」への希望が高いが、年齢層別では高年において「トレーニング施設」、中年で「野球場」、青年で「壁内テニスコート」への希望が高く、高年層は健康や体力の向上をめざす施設、中・青年層では競技の場が求められていることがわかった。Ⅵ群の「文化活動グループ」では、水辺および年齢層ともに相違が顕著である。大河川において「イベント広場」や「野外ステージ」は若い層で、「水辺の博物館」は高年層で求める傾向があり、都市河川、港湾、湖沼でも同じ傾向がみられた。また、大河川、海浜では、青年の「オートシアター」への要求の高さが特徴的であった。

表-4 群ごとの特徴的な施設

群 名	水 辺 名	特徴的な施設	
I	全 水 辺	ベンチ・テーブル、あずま屋、庭園	
	港 湾	水上レストラン	
III	全 水 辺	球技場	
	大 河 川	高年	トレーニング施設
		中年	野球場
IV	港 湾	青年	壁うちテニスコート
		全層	釣り場
		高年	自転車道
		青年	ヨットハーバー
VI	海 浜	高年	水辺の博物館
		中年	パフォーマンス広場
		青年	オートシアター
		高年	水辺の博物館
	大 河 川	青年	イベント広場、野外ステージ
		中年	野外ギャラリー、野外音楽ホール
	都市河川	高年	水辺の博物館
		青年	オートシアター
	港 湾	高年	水辺の博物館
青年		オートシアター	

- 245 -